

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

子どもの姿 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

家庭・学校・地域の姿 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する

市川の教育の姿 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-8501
市川市八幡1-1-1
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

11千葉教育大賞 贈賞式



1月23日、千葉の子どもたちの自立を支援する優れた教育活動を顕彰する「2011千葉教育大賞」(千葉日报社主催)の贈賞式があり、市川市教育委員会が特別賞を受賞しました。この千葉教育大賞は、「学校と地域が積極的に連携して子どもたちの自立支援に取り組む教育活動を表彰する」というもので、今年度は県内23団体の応募の中から4団体が受賞しました。

市川市教育委員会

「千葉教育大賞」特別賞を受賞

学校・地域・行政が一体となって子どもたちの「生きる力」を育成

市川市は、地域が主体となって子どもたちに遊びを中心とした体験活動を提供する取り組み(現「コミュニティクラブ」)を平成9年から開始し、平成15年度からは学校と地域が連携協力する「コミュニティサポート」システムを構築して、学校と地域が協力して子どもたちの自立を支援する取り組みを推進してきました。

特に、コミュニティクラブは、異年齢交流や世代間交流を通して子どもたちの「生きる力」を培い、この体験活動が将来の各地域を担うリーダー養成にも発展していく大きな市川市の教育サイクルの創造になっていることが、高い評価へとつながりました。

行政の受賞は今回が初めてだということで、あらためて市川市の学校・地域・行政のこれまでの地道で積極的な取り組みを評価していただいたものと誇りに思っています。

【教育政策課】



平成26年度の完成を目指して

国分小学校・第四中学校 建て替え工事

耐震診断の結果を受け、国分小学校と第四中学校は、校舎の一部を建て替えます。工事は平成24年度から始まりますが、工事中も教育活動が中断しないように国分小学校は給食室を、第四中学校は体育館を先に建設します。次に、仮設校舎を建ててから校舎の取り壊し、新築工事を行い、両校とも完成は平成26年度を予定しています。

国分小学校 給食室を先に新設します！

国分小学校の建て替えでは、校舎の工事期間中も継続して給食の提供ができるよう、新しい給食室を最初に建てることになっています。

新しい給食室の工事期間中は既存の給食室で調理を行い、これまで通り給食を提供します。

新しい給食室は区域内の他校分の調理も行き、学校給食衛生管理基準にも準拠し、ドライシステムの給食室となる予定です。

現在、発掘調査中！ 第四中学校

第四中学校の場所は、埋蔵文化財の調査区域であり、第一校舎の建て替えにあたって発掘調査を行っています。今までに、古墳～平安時代の竪穴式住居跡や土器、鉄製品や石製品の道具、さらには当時の人が食

べていた貝の殻、炭化したお米なども発掘されました。古墳時代から武士の時代にもこの地に人々が生活を営んでいた様子がうかがえます。

今回の発掘調査によって、こうした歴史が刻まれた土地に学校が建てられ、我々現代人の生活が営まれていることを再確認することができました。【教育センター】



学力・学習状況調査を実施

市川市内の全小学校の5年生と全中学校の2年生を対象に、1月23日～2月3日に本市独自の「平成23年度市川市学力・学習状況調査」を実施しました。市川市教育委員会では、文部科学省が行っていた全国学力・学習状況調査が昨年より抽出調査となり、市内全校での実施ができなくなったことをうけ、本市独自の調査を実施することにしました。

今後、教育の充実を図るために、基礎的・基本的な知識や技能が身についているかどうか、思考力・表現力が育っているか、学習意欲を高めることができているか等を把握し分析することは大切なことです。

本調査は、児童生徒の学力だけでなく、学力と生活習慣との関連についても調査分析をしていきます。各小・中学校の教職員は、得られたデータから指導上の課題を把握し、学力向上に向けた授業改善や指導方法の工夫をしていきます。

教育委員会においても、本調査の結果を受けて、教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、「市川市分析結果」を作成し、各小・中学校への指導助言に努め、児童生徒の学力の向上を図っていきます。

【指導課】

修了証の習得をめざして! 第八中学校 2年生 普通救命講習 I

昨年12月19日、第八中学校の2年生が普通救命講習 I を受講しました。

普通救命講習 I は、3時間の講習を受けた後に実施される確認テストに合格すると、修了証が交付されます。この日は最終日で、心肺蘇生法のテストが行われました。

第八中学校では毎年、保健体育の授業で心肺蘇生法の学習を実施していましたが、今年度から、2年生全員が修了証の習得を目指し講習に臨みました。

講師として指導した消防署の方は「4時間という短い時間でしたが、中学生は覚えが早いです。これから小学校、中学校でも必要な講習だと思います」とのことでした。

無事にテストを終えた中学生は、口々に「難しい」と話していましたが、「4時間やったので反復して覚えられ、しっかり身につけることができました。将来、もし使わなければいけない場面になったら役に立つかもしれません」との感想も聞かれ、この学習を通して救命への意識が高まっていることを感じました。

【教育センター】



未来のリーダー 全員集合!



綱引き「声を合わせて攻めるころえろ」に挑戦する参加者 南八幡体育館で

2月5日、南八幡体育館で青少年リーダー育成事業「わんぱくセミナー」「ジュニアリーダー講習会」合同の「わんぱくスペシャル」が行われました。この事業の卒業生である青少年リーダー(大学生・社会人)が、「わんぱく国体」と題し工夫をこらして考えた12の種目に、小・中学生50名と高校生20名が挑戦しました。

初めは体育館のあまりの寒さに震えていた参加者たちですが、ハチマキの争奪戦から始まり、綱引きやムカデ競走など、競技が進むにつれて皆白熱してきました。チーバくんが見守る中、応援の声もヒートアップ!表彰式では、「優勝白組!」の発表に、参加者が一体となって喜びを分かち合いました。

参加者の皆さん、来年度もわんぱくセミナー・ジュニアリーダー講習会で逢えることを心待ちにしています。そして多くの仲間と友情を育み、様々な経験を乗り越えて立派な青少年リーダーとなり、次代の子どものための良き手本となって活躍してくれることを願っています。

【青少年育成課】

平成23年度 市川市児童・生徒学習賞 個人・団体合わせて36件を表彰

2月13日、市川市児童・生徒学習賞の表彰式が市川市議会議場で行われました。この賞は、市内小・中・特別支援学校の教育活動の成果として、全国規模・関東規模・全県規模の行事に参加し、優秀な成績を収めた個人・団体に与えられるものです。

今年度は、個人の部23件、団体の部

13件、合計36件の受賞となりました。36件のうち、学芸面での受賞が11件、スポーツ面での受賞が25件です。そのうち、全国規模の行事での受賞は10件でした。受賞者には大久保市長から賞状と記念品が授与されました。皆様、おめでとうございます。

【指導課】



【個人表彰】敬称略

No	氏名	学校名・学年	表彰件名	表彰順位
1	小川 彩璃	国府台小学校 6年	平成23年度千葉県春季水泳競技大会	女子50m背泳ぎ 小A 第1位
2	岡安 颯太	平田小学校 3年(現4年)	第8回全日本年賀状大賞コンクール	年賀状大賞 版画部門
3	末廣 彩花	平田小学校 6年	平成23年度子どもの体力向上啓発「標語」	文部科学大臣賞
4	岩城 元己	中国分小学校 4年	第57回千葉県青少年読書感想文コンクール	小学校中学年の部 千葉県教育長賞
5	宝本 薫	新浜小学校 3年	第10回千葉県少年柔道選手権大会	男子3年生の部 30kg 優勝
6	吉田 ケイワ	大野小学校 6年	第28回全国少年少女レスリング選手権大会	小学校の部 6年生54kg級 第1位
7	森本 理矩	塩浜小学校 5年	平成23年度千葉県学童学年別水泳競技大会	小学5年男子100m平泳ぎ 第1位
8	南川 侑香	国府台女子学院小学部 2年	第14回木の家・こんな家に住みたい作文コンクール	低学年の部 国土交通大臣賞
9	渡部 優依花	国府台女子学院小学部 6年	第14回木の家・こんな家に住みたい作文コンクール	高学年の部 文部科学大臣賞
10	田中 輝乃	南行徳小学校 2年	第10回千葉県少年柔道選手権大会	女子2年生の部 優勝
11	櫻本 史温	第四中学校 1年	平成23年度千葉県中学校新人体育大会	陸上競技 1年100m 第1位
12	齋藤 瑛斗	第六中学校 3年	第65回千葉県中学校総合体育大会	陸上競技 3年100m 第1位
13	石川 勇太	第七中学校 3年	第36回関東中学校柔道大会	男子個人55kg級 第2位
14	陣内 文	第七中学校 2年	平成23年度千葉県中学校新人体育大会	柔道 男子50kg級 優勝
15	吉田 アミン	下貝塚中学校 2年	第65回千葉県中学校総合体育大会	レスリング 47kg級 第1位
16	土橋 健也	福栄中学校 3年	第35回関東中学校水泳競技大会	男子400m自由形 第1位
17	高梨 汐音	福栄中学校 1年	第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	女子100m平泳ぎ 11~12歳 第2位
18	佐藤 春奈	大洲中学校 3年	平成23年度全国中学生人権作文コンテスト千葉県大会	最優秀賞
19	日浦 貴人	市川中学校 1年	第11回毎日パソコン入力コンクール	フラッシュ暗算の部 文部科学大臣賞

No	氏名	学校名・学年	表彰件名	表彰順位
20	金丸 真帆	市川中学校 2年	第28回NHK杯全国中学校放送コンテスト千葉県大会	アナウンス部門 優秀賞(全国大会出場)
21	安西 美由希 近藤 利菜	昭和学院中学校 1・2年	平成23年度千葉県中学校新人体育大会	ソフトテニス 女子個人の部 第1位
22	小川 朱音	昭和学院中学校 3年	千葉県中学校水泳競技大会	女子100m自由形 第1位
23	神山 かおり	和洋国府台女子中学校 3年	平成23年度私の思い中学生の主張 千葉県大会	最優秀賞(千葉県知事賞)

【団体表彰】敬称略

No	氏名	学校名・学年	表彰件名	表彰順位
1	鬼高ミニバスケットボールクラブ	鬼高小学校	千葉県スポーツ少年団 第31回ミニバスケットボール交流大会	男子の部 優勝
2	市川市立塩焼小学校 5年1組(現6年1組)	塩焼小学校	第60回 2010年度 全国小・中学校・PTA新聞コンクール	小学校・学級新聞の部 毎日小学生新聞賞
3	国府台女子学院小学部	国府台女子学院小学部	第14回木の家・こんな家に住みたい作文コンクール	最優秀団体賞
4	女子柔道団体 田中輝乃 田中智陽 立川由紀乃	南行徳小学校 他	第10回千葉県少年柔道選手権大会	女子団体の部 優勝
5	市川市立第七中学校 サッカー部	第七中学校	平成23年度千葉県中学校新人体育大会	サッカー 優勝
6	女子マドレーリレーチーム 山口華奈 高梨汐音 池田菜穂 真知優菜	福栄中学校 国府台女子学院中学部 他	第34回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	11~12歳 女子200mマドレーリレー 第1位
7	昭和学院中学校 水泳部	昭和学院中学校	千葉県中学校水泳競技大会	女子総合の部 第1位
8	昭和学院中学校水泳部 女子フリーリレーチーム 宇佐見清 星野紗歩 真知美優 小川朱音	昭和学院中学校	千葉県中学校水泳競技大会	女子400mフリーリレー 第1位
9	昭和学院中学校水泳部 女子マドレーリレーチーム 宇佐見清 木内美聡 真知美優 小川朱音	昭和学院中学校	千葉県中学校水泳競技大会	女子400m マドレーリレー 第1位
10	昭和学院中学校水泳部 男子マドレーリレーチーム 藤原優太 松村俊樹 米川 颯 市丸貴之	昭和学院中学校	千葉県中学校水泳競技大会	男子400m マドレーリレー 第1位
11	昭和学院中学校 新体操部	昭和学院中学校	第65回千葉県中学校総合体育大会	新体操 女子団体 優勝
12	昭和学院中学校 バスケットボール部	昭和学院中学校	第65回千葉県中学校総合体育大会	バスケットボール 女子 第1位
13	昭和学院中学校 ソフトテニス部	昭和学院中学校	第65回千葉県中学校総合体育大会	ソフトテニス 女子団体の部 第1位

家庭教育学級は、新たな時代を担う子どもたちの健やかな成長を願い家庭における教育力を高めること、保護者同士が交流を深め情報交換をしながら心豊かに学び合うことを目的とした保護者のための学びの場です。

幼稚園から中学校まで、我が子が学ぶ学校に家庭教育学級を開設していることが市川市の家庭教育学級の特色です。今回は、平成23年度に開催された多くの講座の中から特色のある取り組みを紹介させていただきます。【生涯学習振興課】

○行政とのつながりによる学び

～大野小家庭教育学級～

今年度から小学校5、6年生を対象に「外国語活動」の学習が始まりました。大野小の家庭教育学級では、市川市の職員である外国語活動指導員を講師に招き、実際の授業で使用されている教材を用いた、保護者向けの授業体験講座が開かれました。(6/22)



参加者からは「このような授業を小学生の時に受けていれば、もっと英語が好きになったのに…」などの感想が寄せられる程、内容豊かな講座となりました。

他にも、保健センター職員、危機管理課職員などの市川市職員が、市内家庭教育学級で講師を務めています。

保護者のための 学びの場として 家庭教育学級

○企業とのつながりによる学び

～稲越小家庭教育学級～

稲越小学校の家庭教育学級では、教育CSR(企業による教育分野における貢献活動)の制度を活用した講座が開かれました(11/22)。食材を無駄にせず、短時間で仕上がり、片づけ方にも工夫をこらした調理法を、専門のインストラクターから学ぶ実習です。家計にも環境にも優しい調理法は参加者の方に大好評でした。

企業の持つ教育力を有効に活用する取り組みは、学校教育の現場において今後ますます重要になってきます。

企業と連携しながら講座を開催している家庭教育学級は稲越小だけにとどまりません。家庭教育学級は、家庭・学校・地域と企業をつなげる役割も果たしています。



家庭教育学級に関する情報やお問い合わせについては下記をご覧ください。

市川市教育委員会生涯学習振興課 Tel.047-334-1657

市川市教育委員会ホームページ 家庭教育学級

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu09/1111000010.html>

来たるべく災害に対応 子どもたちの命を守るために -津波を想定した避難訓練も-

東日本大震災を教訓として、市川市の幼稚園や小・中学校では、避難場所の変更や子どもたちの引き渡し方法など、防災計画・避難訓練の見直しを図っています。

特に海に近い学校では、校舎の屋上に避難するなど、地震に加えて津波を想定した訓練を実施するようになり、万が一に備える体制を整えています。

各学校で子どもたちの命を守るため、防災意識がさらに高まっています。【教育センター】

○行徳小学校では、「地震発生時対応ガイドライン」を作成し、チェック項目をもとに、災害時における学校と保護者との連携のあり方を明確にしました。

市川市立行徳小学校 地震発生時対応ガイドライン

東日本大震災発生時の教訓を生かし、保護者、地域、学校が一体となって子どもたちを守るための観点で「地震発生時対応ガイドライン」を作成しました。一読いただくとともに、地震発生時における確認事項をチェックいただき、本校の対応にご協力いただけますようお願いいたします。 校長 高瀬一男

- 【震度5以上の地震が発生した場合】
 - 【チェック1】在宅時(登校前)の場合、震度5以上で臨時休校となります!
 - 在宅時(登校前)に、市川市に震度5以上の地震が発生した場合、学校は臨時休校(休校)となります。
 - ① 震度4以下であっても、学校周辺の状況により臨時休校(休校)となることもあります。その際は、「まちcomiメール」にてお知らせいたします。
 - ② 学校から登校の指示があるまで臨時休校とします。
 - 【チェック2】登校中の場合、震度5以上で引き渡しを実施します!
 - 東日本大震災後、震度なる余震が発生した際に、多くの保護者から学校に引き渡しの実施について確認の電話が来りました。そこで、今後の保護者への引き渡しは「震度5以上」にて実施いたします。原則として、震度4以下では、引き渡しを実施しません。
 - 【チェック3】迅速な引き渡しに向けて「引き渡しカード」を作成します!
 - 地震発生後、子どもたちを安全な場所(校庭等)に避難誘導します。学校周辺の被害状況などを見届け、安全確認の上、保護者に引き渡しますので、できる限りすみやかに、学校まで迎えに来てくださいます。
 - また今回、新たに「引き渡しカード」を各家庭で作成いただきます。引き渡しの際は、「引き渡しカード」にある「引き渡し可能者」のみを引き渡します。カードに記載がない立派の引き渡しは、原則行いません。
 - ① 東日本大震災発生時同様、引き渡し可能者が迎えに来るまでは、学校が子どもたちを確保しております。
 - ② 引き渡しの経路や状況は、随時「まちcomiメール」にてお知らせいたします。
 - 【チェック4】最後の情報手段は、「まちcomiメール」しかありません!
 - ① 本
 - ② 東

○二俣小学校では、全学年が屋上に避難する訓練を行ったり、災害時における給食献立(※)を実施したりしています。
※保存ができるクラッカーや、備蓄できる小麦粉を使用して保温効果のあるすいとんなど



④屋上に避難した子どもたち=二俣小で
⑤マンションの階段を登る子どもたち=幸小で



○幸小学校では、より高い所へ避難するためにCS委員会(※)を中心に地域と連携し、学校周辺のいくつかのマンションに避難する訓練を実施しています。

共に喜び、共に歩もう、明日をめぐって



「自立への子育て」について講演する社会福祉法人あおぞら共生会副理事長 明石洋子先生(市川市市民会館)

第20回 市川市特別支援教育振興大会

2月1日、市川市市民会館で「共に喜び、共に歩もう、明日をめざして」を主題として、第20回特別支援教育振興大会が開催されました。

この大会は、障害のある子どもたちが社会の一員として自立的な生活を営むことができる、より豊かな共生社会の実現に向け、特別支援教育に対する理解を深めていくために、1年おきに開催されています。当日は、500名を超える市内の小・中学校の教員、保護者、関係機関の方々にご参加いただき、特別支援教育に関する関心の高さが感じられました。

市川市教育委員会からの特別支援教育の取り組みに関する報告、スライド上映による市川市立須和田の丘支援学校の紹介の後、社会福祉法人あおぞら共生会副理事長 明石洋子先生に、「自立への子育て」と題してご講演いただきました。講演では、ご自身が体験された、ご子息の自立に向けた子育てのお話、テレビ番組に取り上げられたご子息の働く姿を上映し、参加者からは「感銘を受けた」との感想が多く寄せられました。

障害の有無にかかわらず誰もが生き生きと生活できる社会を目指して、特別支援教育に対する理解を広げていくことの大切さを改めて感じた大会となりました。【指導課】

※CS委員会=コミュニティサポート委員会：市内全小・中学校に設置されており、地域団体関係者・学校関係者等が、子どもたちに関わる情報交換・意見交換を行います。

平成23年度 教育実践記録論文表彰 子どもたちの「生きる力」を育む実践の数々

平成23年度教育実践記録論文の表彰式・発表会が2月14日、生涯学習センターで行われました。

今年度は「一般部門」11編、経験5年以下「フレッシュ部門」8編の応募があり、一般部門の最優秀賞には富貴島小・島野由香教諭と鶴指小・大根田芳光教諭の論文が、経験5年以下「フレッシュ部門」の最優秀賞には菅野小・三浦清美教諭の実践記録論文が選ばれました。
【教育センター】

平成23年度 教育実践記録論文受賞一覧

「一般部門」審査結果

賞	学校名	氏名	分野	テーマ
最優秀	富貴島小	島野 由香	国語	子ども達が主体的に学び、喜びを感じながら取り組む学習活動を目指して～書く力を育てる言語活動「パンフレット作り」「随筆を書く」の実践より～
最優秀	鶴指小	大根田 芳光	保健体育	運動って楽しい！ ～自分たちの体力を知り、体力向上を自分たちの力で～
特別	大町小	高橋 道夫	学校経営	学校課題:『基礎学力の定着』に向けて 学校評価を生かし、組織「(学力向上プロジェクト)の活性化を通して
優秀	大柏小	吉野 貴子	算数	数表を活用した数の理解を深める学習の実践
優秀	行徳小	土橋 弥生	総合	『もっと知りたい！食・食・食』 ～子どもの思いや願いを大切に食育を通して～
優良	八幡小	中嶋 信子 押手 亮 小助川 潤子	学年経営	一人一人の「思い」「夢」の実現に向けて ～チームで取り組む高学年の指導～
優良	幸小	高橋 洋之 石原 美緒	保健体育	わかる！できる！かかわる！たのしむ！ 年間体育指導の実践

○教育実践記録論文の募集は、自分の教育実践をまとめることで教職員の自己啓発を促すことを目的として、昭和54年に始まりました。



経験5年以下「フレッシュ部門」審査結果

賞	学校名	氏名	分野	テーマ
最優秀	菅野小	三浦 清美	国語	みんなでちよう博士になろう！ ～ちようのなぞをたいて～国語「花を見つける手がかり」を通して
優秀	柏井小	大森 裕子	保健体育	投げる楽しさを味わうの当てゲーム ～2年生のボール運動を通して～
優良	行徳小	熊谷 和修	音楽	基礎・基本を伸ばす音楽の授業
優良	行徳小	齋藤 直人	保健体育	運動が苦手な児童でも「わかる・できる」体育授業
優良	行徳小	永瀬 悟	学年学級経営	子ども・教師が共に成長できる学級づくり ～子どもの良さを生かす学級通信づくりを通して～
優良	富美浜小	徳山 いつか	学年学級経営	遊びや学級活動を通して相互尊重を築く学級経営の取り組み ～信頼しあい、協力しあうクラスを目指して～

※同じ賞については、学校番号順であり、点数順ではありません。

-学校版環境ISO認定式-

環境学習、資源回収など 様々な活動を報告

学校版環境ISO認定事業は、平成15年度より始まり、各学校の特色ある環境保全活動や省エネルギー・リサイクル活動への取り組みを推進し、児童生徒及び家庭・地域の環境意識の高揚と、実践力を高めることを目的とするものです。毎年5校が新たに取り組み、その実践状況により学校版環境ISO実践校として認定します。

今年度で第9回目を迎える認定式は、1月26日、生涯学習センター内グリーンスタジオで行われ、新たに鬼高小学校、稲荷木小学校、第六中学校、大洲中学校、妙典中学校の5校に認定証が授与されました。

また、2年目を迎えた新井小学校、南新浜小学校、妙典小学校、第三中学校、第八中学校の子どもたちにより、この2年間の実践発表が行われ

ました。

委員会活動を中心とした主体的な活動や、環境学習、資源回収活動など、様々な報告があり、出席された来賓の皆様や学校関係者から多くの拍手が送られました。

子どもたちが当たり前のように行っている「環境保全活動」の報告を聞いて、私たち大人も、改めて環境問題について、新たな視点を持って考えなくては行けないと、強く感じた認定式となりました。

【指導課】



◆◇ 教育委員と児童生徒との交流会 ◇◇

1年～6年の全学級の授業を参観した後、6年生と給食交流を行いました。

稲越小では、全学年を縦割りにした異年齢グループで、掃除をはじめとした日常の活動を行っています。

「いい雰囲気の良い学校ですね。18グループに分かれての様々な活動は6年生のリーダー性を育てています。広報委員会の活動のすばらしさにも驚きました」(宇田川委員)

稲越小(2/7)



平田小(2/10)

平田小1年生と近隣の保育園・幼稚園で平田小に入学予定の園児との「なかよしこうりゅうかい」と、たんぼぼ学級の授業を参観しました。

「1年生と園児の交流会は、子どもたちにとってとてもいい取り組みですね。1年生は立派でした。入学する園児も安心しますね」(中村委員)

【教育政策課・教育センター】



市川の新聞づくりに高い評価

全国小・中学校・PTA新聞コンクール

百合台小学校 最優秀賞！ 塩焼小学校 毎日小学生新聞賞！

第61回全国小・中学校・PTA新聞コンクール(毎日新聞社・毎日小学生新聞・全国新聞教育研究協議会主催)の小学校・学習新聞の部で百合台小学校5年2組が最優秀賞、同じく学級新聞の部で塩焼小学校6年1組が毎日小学生新聞を受賞しました。

最優秀賞に輝いた百合台小は、国語の「雪わたり(宮澤賢治作)」の発展学習として、学級の子供たち全員が賢治の生き方や作品の特徴などを個人新聞形式で作成し、それをもとに「私の考える賢治世界」というテーマで2枚の学習新聞に仕上げました。

両学級とも、個人新聞や学級新聞づくりなど、日頃から取り組んでいることが大きな成果となって表れました。

今後、各学校での新聞づくりがますます盛んになることを期待します。
【教育センター】